

研究種目：基盤研究(B)
研究期間：2006～2009
課題番号：18330073
研究課題名(和文) 近現代日本の生活様式と社会環境からみた都市と農村の比較研究
研究課題名(英文) Comparative research between cities and farm villages
from the viewpoint of life styles and social environments
in early modern and modern Japan

研究代表者

中西 聡 (Nakanishi Satoru)
名古屋大学・大学院経済学研究科・教授
研究者番号：20251457

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学・経済史

キーワード：近現代日本、生活様式、社会環境、都市生活、農村生活

1. 研究計画の概要

本研究は、近現代日本における人々の生活様式とそれを取り巻く社会環境の歴史的展開を解明し、生活し易い環境の維持につながる知見を得ることを目的としており、社会環境の相違を最も明確に示すのが、都市と農村であったとの認識から、その比較を重視した。

そこで、研究組織を都市班と農村班に分け、そのなかで人々の生活様式を主に分析する担当とそこで形成された社会環境を主に分析する担当に分けた。

具体的研究計画は、各研究メンバーによる生活様式と社会環境に関する個々の事例研究の総合化・体系化、20世紀前半の日本の生活様式と社会環境に関する文献資料の学際的研究、の2点からなり、文献資料として「郡是・町村是」資料、6大都市の社会調査報告書、政府が行った家計調査報告書、京都大学が行った農家経済調査報告書を取り上げることとした。

2. 研究の進捗状況

(1) 第一の研究課題である生活様式と社会環境の個々の事例研究の総合化・体系化については、各研究メンバーが進めるとともに、その研究成果を共有するための研究報告会を定期的実施した。研究開始年度の平成18年度は、メンバーが名古屋大学中心であったこともあり、名古屋で研究報告会を実施したが、他地域の研究者との交流を深めるべく、平成19年度からは新たな研究分担者の参加を得て、名古屋と東京で交互に研究報告会を実施することとした。平成20年度も新たに北海道・九州の連携研究者の参加を得て、交流の範囲が全国的に拡大した。

(2) 第二の研究課題である生活様式と社会環境に関する文献資料の学際的研究については、「郡是・町村是」資料(マイクロフィルム版)を全てプリントして各研究メンバーが閲覧可能とし、その調査項目の一覧表の作成を開始した。また、6大都市の社会調査報告書は、復刻版として刊行されたものを交付された補助金で購入し、名古屋市の社会調査報告書の分析を開始した。家計調査報告書については、「郡是・町村是」資料と地域的に接続可能な地域について分析を開始し、農家経済調査報告書については、共同で読み合わせを行い、分析方法などの意見交換を開始した。

また、愛知県域をフィールドとして、文献調査・物体調査・聞き取り調査を組み合わせる新たな歴史研究の試みを開始し、経済史・建築史・歴史地理・教育史・社会学・文化史などを専門とする多様な研究者が、「郡是・町村是」のある地域の歴史的建造物や景観を共同で実地調査した。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している

(理由)

各研究メンバーの個々の事例研究の総合化・体系化については、研究報告会を重ねた結果、各研究の次元を、「家」の生活様式の研究、「家」から「社会」への影響を比較的強く及ぼす領域の研究、「社会」環境が「家」の生活を大きく規定した領域の研究、の3つに分け、それら相互の関係をまとめる方向で進んでいる。

学際的共同研究についても、研究組織が全国的に広がるとともに、共同研究の素材となる文献資料の確保とその利用環境は格段に

高まり、それを利用した愛知県域の実地調査を行うことができた。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 個々の事例研究の総合化・体系化は、将来的に共著書としてまとめる予定で、現在は各研究メンバーが学会発表を順次進めている段階である。今後も、学会発表・論文等の形で研究成果の公表を進め、最終的に図書として研究成果を公表したいと考えている。

(2) 学際的共同研究は、文献資料が大部であり、そのため研究組織を拡大して研究成果をできるだけ早くまとめる方向で進めている。公表の方法として、学会等でのパネルディスカッションやシンポジウムの開催を考えている。また、共同実地調査を通じた新たな学際的歴史研究の試みは、愛知県域に止まらず、他地域でも実施し、地域間比較も進める予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[学会発表] (計3件)

- 1・中西聡「有力商家の経営展開からみた北陸と大阪の産業化」(経営史学会中部ワークショップ、2008年12月6日、名城大学)
- 2・Nishizawa Yasuhiko, “Some Topics about Preservation and Utilization of Modern Architecture in Japan”, The Conference of Docomomo Korea in 2009, Seoul, 2009.2.26.
- 3・小堀聡「都市空間と臨海開発」(「都市—文化—記憶」研究会、2009年3月27日、立命館大学)